

2021年度（総合型選抜）AO選抜入学試験
食マネジメント学部「プレゼンテーション方式」

1. 実施状況

(1) 志願者数, 合格者数等

学科・学域・専攻等	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
食マネジメント学科	81	35	21

(2) 本入学試験の目的

食マネジメント学部の学びへの理解度, 食科学を学ぶ意欲と問題意識が極めて高く, かつ理解力・思考力・自己表現力・問題解決力・行動力に優れ, 食マネジメント学部での学びと実践を積極的に中心となって牽引する役割を担うものを受け入れることを目的とする。

2. 試験内容

(1) 第一次選考

・エントリーシート

「食マネジメント学部を志望した理由を書いてください」および「食マネジメント学部で学んだことをどのように社会で活かして活躍したいか, いま考えていることを具体的に書いてください」

課題論文

「『食 90億人が食べていくために (サイエンス・パレット)』 (John Krebs著, 丸善出版, ISBN-13 : 978-4621089415)」を読んで以下の3項目についてまとめる。

「本書の内容を紹介する文章 (400字以内)」, 「本書から2つの章を選び, 各章につき興味を持った点ならびに自分の考え (感想含む) の2点をまとめる (各章600字以内, 2つの章で計1,200字以内)」および「食マネジメント学部で勉強したいことを, 本書の内容と関連付けて述べる (400字以内)」

(2) 第二次選考

・プレゼンテーション試験

志願者本人が用意した資料 (ポスターやパワーポイントなど) に基づき10分程度でプレゼンテーションを行う試験で, 以下の2つのタイプからいずれかを選択できるようにした。

タイプA : 食マネジメント学部で, 学びたいことと活動していきたいことをプレゼンテーションする。

タイプB : 食べ物または食材を1つ選んで (当日持参), それについてテーマを設定し, プレゼンテーションする。

・面接試験

出願書類 (「エントリーシート」・「課題論文」) に基づいて個人面接を行った。

3. 出題の意図

(1) 第一次選考

エントリーシートでは, 本学部での学びへの意欲, 食に関する問題意識のあり方, 率先自律して努力する姿勢, 基礎的学習能力を把握することを意図した。課題論文では, 主として本学部の教育内容に対する理解, 食に関わる幅広い知的的好奇心と問題意識, 論理的な

思考力に加え、それに基づく問題解決力と自己表現力を図ることを意図した。また何れの課題においても、字句の用法の適切さ等から、基礎的学習能力を把握することを意図した。

(2) 第二次選考

プレゼンテーション試験では、本学部の教育内容に対する受験者の基礎的理解に加え、論理性、将来性、説得力、コミュニケーション能力、タイプAでは行動力、タイプBでは創造性を把握することを意図した。面接試験では、エントリーシートと課題論文に関する質問への応答から、学習意欲、問題意識、積極性を把握することを意図した。

4. 評価のポイント

(1) 第一次選考

エントリーシートでは、大学入学後の学習意欲・関心等を評価する。

課題論文では、内容の論理性・説得力・独創性及び語句・漢字が正しく使用されているか等を評価する。

(2) 第二次選考

プレゼンテーションでは、テーマに基づいた内容でプレゼンテーション資料や発表ができてきているか、プレゼンテーションが明確かつ論理的にできているか、的確に質疑応答ができていかなどを評価する。なお、A、Bどちらかのタイプを優先するという評価はおこなわない。

5. 解答状況

(1) 第一次選考

エントリーシートでは自身の将来の目標や夢、あるいは大学在学中に取り組んでみたいことなど多様な回答が見られたが、記載内容が抽象的なものではアピールが弱くなり、自身の置かれた環境や自身の体験など具体的な記述があるものは総じて訴求力が強かったといえる。課題論文では特定の章を選択した答案が集中する傾向が認められ、似通った答案が多くなった。

(2) 第二次選考

プレゼンテーション試験のうち、とくにタイプBは本年度が2回目であったが、一定の受験生があり、概ね意図した形での試験を実施することができた。本学部の入試スタイルとして定着しつつあると判断できる。ここでも抽象的なプレゼンテーションよりも、具体性のあるプレゼンテーションの評価が高いという傾向が認められた。

6. 次年度の受験生へのアドバイス

1次選考のエントリーシートでは、学部の特性に応じた自己アピールをどれだけ効果的に発信できるかが重要です。他の人と同じことを書いては評価されないということを理解してください。その際、自身の直接、間接の体験は重要なアピールポイントになります。また、課題図書に関しても、同様に他の人と同じことを書いては評価されません。差がつけられないからです。例えば、エントリーシートに書かれた自身の体験などと関連づけて、議論が展開できれば効果的です。

2次選考に関しては、一般的な傾向として抽象的なお話より具体的なお話、特に自身の置かれた環境や実体験に基づいたお話には訴求力があります。抽象的なお話にまとめようとする则皆同じような似通った話になってしまいます。それでは他の受験者との差が出ません。面接、プレゼンテーションを通じて、他の人とは違う個性を示すことが一つのポイントになります。その部分をどのように説得力を持って主張できるかを考えてください。

以上